

校長  
先生方へ

## コンプライアンス・アラート

## 「落雷は防げないが落雷事故は防げる」



部活動中に落雷による事故が発生しました。天候の変化が激しく雷雲が発生しやすい季節となります。また、屋外での活動も多くなる時季です。

天候の変化には十分に注意をし、日頃から素早く迅速な対応をとれるようにしておきましょう。

過去の判例からも、事故を予見し回避するのは指導者の義務です！もしも事故が起こった場合には危険の予見をしていたかが問われます。

- 屋外での活動前には必ず天気予報を確認する。
- テントや用具設備はしっかりと固定する。
- 雷雲の発生や空が暗くなる等急に天候が変化した時には活動を中止する。
- 雷警報器等を学校に常備し活用する。
- 雷光や雷鳴を確認したら遠くであってもすぐに避難を開始する。雷光・雷鳴がなくなっても20～30分は待機し、すぐには活動を再開しない。

下校時は慌てて帰らせず、状況をみて学校で待機をさせる判断も大切です。

■気象庁・日本気象協会や、ウェザーニュース等民間の情報等常にチェックできるようにしておき、日頃から天候の変化に敏感に対応できる準備をしておきましょう。

■市販されている**雷探知警報器等**を購入し、天候の変化が気になる時、判断する時の拠り所として活用している学校も増えています。